

toVO トヴェ
PLUS

www.tovo2011.com

SEASON 5

No.050 - 100号まで、残り50家族、50ヶ月



NO. **050**

20160511

あおもりの100家族、わたしたちのこれから。





今号（51家族目）のご家族▶
鈴木 敏之さん・齊藤 幸さん・妃菜さん
撮影場所▶tossy's diner Hot Lips（青森市）
※2016年4月28日、惜しまれつつ閉店

【インタビュー】

●2011年3月11日のこと、憶えていますか？

▶妃菜さん「当時は6年生だったんですが、揺れが来たのはテスト中でした。もちろん、今まで経験した中で最大の地震でした。」

▶敏之さん「ランチの時間が終わって、買い出しに行こうと店の外に出て歩いてたんですよ。業者の方と電話しながら。したらその方が『あれ？ 地震だがあ？』って。初め気が付かなかった。...で、割と大きいねと。店に戻ることにしたんですが、停電で信号が止まってましたね。（お店からすぐそばの）サークルKも停電していますから、レジの方は電卓で対応していましたよ。近隣のオフィスから次々と急に必要となったものを買いに来ていましたんで、そんど（編集者注：津軽弁。「そんどこ」とも。＝大変な様。騒動？）でした。」

▶幸さん「お店まではクルマで戻ったんですが、信号止まってますからトッシーさん（敏之さん）が交差点でクルマ降りて他のクルマが来ないか見てくれたんですけど、そのトッシーさんが揺れてましたね。電柱もグラグラ。トッシーさんをお店に降ろした後、私は妃菜を迎えに小学校まで行きました。普段数分で着くところを1時間掛けて...。でも、その迎えに行くタイミングが早かったみたいで、妃菜には『早い！』『1回帰ってよ』って怒られました。小学生の頭の中では、このまま（修学旅行のように）お泊まり会になるかもって思っていたみたいで...。でも連れ帰ってきて、おばあちゃんを家に預けて。夜はトッシーさんと2人で布団に包まりながら鍋焼きうどん作って食べて、早く寝ました。」

▶敏之さん「お店は停電で営業できないし、被害と言ってもフライヤーの油が少し溢れたくらいで他はなんともなかったし...。店にいてもやることないんで早く帰りました。幸が妃菜を迎えに行く時、ちょうどガソリンが残り少なかったんで給油に行くように言ったのが幸いしましたね。まだガソリンスタンドに行列ができる前だったんで。あんなことになるとは思っていませんでした。翌日、当時市役所のそばで営業していたアクバルさん（パキスタン出身のベテランシェフ。青森市内で引越しを繰り返しながら、インド・パキスタン料理のお店『アクバル』を運営されていた。現在は閉店し、青森からも離れてしまったとか...）から電話きて『もう電気来てるよ。お店やろうよ！』って言われたんですが、ちょっとそういう気になれなくて...で、何をしていたかっていうと、店（ホットリップス）には電気もガスも水道も来ていたので、お客さんの中に困っている人がいればと思って『水を汲みにおいで』『充電しにおいで』って電話掛けてましたね。自粛ムードがありましたが、店は週明けの月曜日（3月14日）から営業再開しました。買い貯めた食料を食べていたのか、外食する人は誰もいなくて、アクバルさんと世間話して励まし合ってたね。」

●心境や生活の変化はありましたか？

▶幸さん「当初は危機感がなかったんですよ。復旧も早かったし。テレビを見ても『こんなことがあるんだなあ』程度で。しかし、時間が経つにつれSNS等で情報がどんどん流れてくるとなると、ことの重大さに気が付いて…。そして、もし津波が来たらと考えるようになって、飼っている3匹の猫の担当を決めました。妃菜はりぼん、トッシーさんはまりん、私はみかんって。大きな津波だったら、アパートの3階に逃げようとか、隣の家の屋根に移れるんじゃないかとかも話しましたね。」

▶敏之さん「やれることは何だろうと思いました。何ができるべと。自営業なので、店を休んでボランティアに行くと自分たちが生活できなくなってしまうし…募金しかできることがなかった。あと気になったのが、動物たちのこと。飼い主と別れてしまったペットたちの命も気になりました。同じ命ですから。命の尊さ、大切さってものを考えるようになりましてね。そして、出会いのありがたさも強く思うようになりました。入りづらいとよく言われるホトリップスに勇気を持って入ってきてくださったお客様にも感謝です。みなさん、本当にありがとうございました！」

●10年後のイメージは？

▶幸さん「夢なんですけど…動物の殺処分ゼロに携わっていたいなあと。災害に遭った動物たちも救ってあげたい。何か他の仕事をしながらになるのか、専門でやれるのかは分からないんですけど…。」

▶敏之さん「その頃、54歳…生きでるべが…。元気で笑っていたいよね。何をしているか分からないけど。『命』のために何かできていればいいなと思うよ。殺処分を避けるために活動したい。自分たちだけでは生きていけない動物のことを守っていきたい。」

▶妃菜さん「10年後は、たくさん猫を飼っていると思います。そして私は第1子を産んでいると思います。」

▶敏之さん・幸さん「妃菜は日本にいねえんだらうなあ〜。」

▶幸さん「妃菜は海外でウエディングプランナーやりたいって言っていたこともあるんで、きっと得意な英語の通じる国にいるんだらうなって思います。」

【取材後記】2016年4月28日、多くのファンに愛されたtossy's diner Hot Lipsが閉店しました。トッシーさんは浦和レッズの熱烈なファンということもあり、店内は赤・赤・赤…。看板メニューは、すべての材料に拘りが詰まったハンバーガー。お肉のサイズやポテトの量を選べるのですが、お肉トリプルにするともう肉汁がドバドバで、嬉しい悲鳴が鳴り止まぬ状態に…。また、1リットル入る通称もつけジョッキで味わう生ビールも最高でした。右手にズッシリくる幸せの重さ、忘れません。多くの青森人がトッシーロスを発症中。アンコールの声が鳴り止まない。（今号No.050インタビュー：なるみしう／撮影：須川健太郎）

【寄付総額】2011年6月～2016年4月30日まで「¥4,179,563」を、あしなが育英会「あしなが東日

本大震災遺児支援募金」へ寄付することができました。ご支援に深く感謝致します。

【定期購読のご協力を!】1年間の定期購読を承ります。1,800円(送料・寄付含)／1年間(12号)です。このフリーペーパーは定期購読の皆様のご支援で発行されております。ご支援の程、宜しくお願ひ致します。ご希望の方は、ウェブショップ (<http://shop.tovo2011.com>) よりお申し込みください。